

2013年12月19日

公益財団法人 日本サッカー協会  
2013年度 第9回理事会

## 協議事項

1.	次期役員選出方法の件 <b>(協議) 資料No.1</b> 次期役員の選出方法を、別紙資料の通りとしたい。
2.	FIFA 女子ワールドカップ 日本招致の件 2011年のFIFA女子ワールドカップの優勝、2012年ロンドンオリンピックの銀メダル獲得により、日本の女子サッカーの認知・関心は非常に高まった。その影響を受け、女子の登録数も増加傾向となっている。 また、2012年にFIFA U-20女子ワールドカップの日本開催にも多くの観客が訪れ、なでしこジャパンだけでなく、各年代日本女子代表、なでしこリーグなど、女子サッカーを観る、応援するということが定着しつつある。 この状況を継続し、真に女子サッカーの発展・普及を図るために、2023年の「FIFA女子ワールドカップ」の開催国として立候補したい。
3.	基本規程 改正の件 <b>(協議) 資料No.2</b> 添付の通り、基本規程を改正したい。概要は以下の通り。 <概要> ➤ 「第7章審判」を基本規程から独立させる。 ➤ 別途「審判員及び審判指導者に関する規則」を制定し、個別の規則を定める。 ➤ 「審判員及び審判指導者に関する規則」の第21条〔定年による引退〕(2) 審判指導者の定年による引退につき、フットサル1級審判インストラクターの定年を満65歳より70歳へと変更する。 ➤ 「審判員及び審判指導者に関する規則」の第29条〔処分〕 先の理事会にて決定された懲罰規程の変更及び法務委員会のコメントを踏まえ、文言他を修正する。 ➤ 本規則は2014年4月1日から施行する。
4.	基本規程等 改正の件 <b>(協議) 資料No.3①②</b> <概要> ・基本規程第67条〔登録料(分担金)〕について、誤記を修正する。 ・2014年4月からの消費税率変更およびJ3の新設等に対応するため、「プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」を別紙の通り改正したい。 ・本規則は2014年2月1日から施行する。
5.	懲罰規程 改正の件 <b>(協議) 資料No.4</b>

11月理事会にて承認頂いた懲罰規程（2014年4月1日施行）第5条懲罰の解除について、無期限に限らず3年を超える有期の懲罰に対しても解除申請を可能とし、併せて解除申請が可能となる時期を延長することとしたい。

#### 6. Jリーグ U-22 選抜コーチングスタッフの件

##### （協議）資料No.5

J3リーグに参加するJリーグ U-22 選抜の監督を次の通りとしたい。尚、その他のコーチングスタッフは、既存のナショナルコーチングスタッフが適宜担当する。

監督： 高島 勉（たかはた つとむ）

契約期間： 2014年2月1日～2016年1月31日（24ヶ月）

プロフィール： 別添参照

※高島氏は「代表チーム・テクニカルコーディネーター（ユース担当）」として、ユース年代の日本代表チームの活動に関して、関係する連盟、委員会および選手が所属するクラブとの調整等、技術委員長（強化担当）のサポート役を兼務する。

#### 7. J F A 復興支援特任コーチの件

##### （協議）資料No.6①②

東日本大震災後の被災エリア（岩手県、宮城県、福島県）におけるサッカー支援活動の継続を図るため、手倉森浩氏とのJ F A 復興支援特任コーチの契約を延長したい。

氏名：手倉森 浩（てぐらもり ひろし）

生年月日：1967年11月14日

契約期間：2014年2月1日から2015年1月31日 ※2013年2月1日より現職を任命

#### 8. 審判員とのプロフェッショナル契約の件

##### （協議）資料No.7

以下の13名の審判員とプロフェッショナル契約を締結したい。

契約期間は、2014年2月1日～2015年1月31日。全審判員が2013年に続いての契約。

年齢は2014年1月1日現在。リストは年齢順。

##### 【主審】

- |                   |             |     |
|-------------------|-------------|-----|
| ①吉田 寿光（よしだ としみつ）  | 1963年8月29日生 | 50歳 |
| ①村上 伸次（むらかみ のぶつぐ） | 1969年5月11日生 | 44歳 |
| ②扇谷 健司（おおぎや けんじ）  | 1971年1月3日生  | 42歳 |
| ③西村 雄一（にしむら ゆういち） | 1972年4月17日生 | 41歳 |
| ⑤松尾 一（まつお はじめ）    | 1972年9月26日生 | 41歳 |
| ⑥家本 政明（いえもと まさあき） | 1973年6月2日生  | 40歳 |
| ⑦東城 穰（とうじょうみのる）   | 1976年8月30日生 | 37歳 |
| ⑧佐藤 隆治（さとう りゅうじ）  | 1977年4月16日生 | 36歳 |
| ⑨飯田 淳平（いいだ じゅんぺい） | 1981年8月14日生 | 32歳 |
| ⑩木村 博之（きむら ひろゆき）  | 1982年1月30日生 | 31歳 |

## 【副審】

- ① 名木 利幸（なぎ としゆき） 1971年11月29日生 42歳  
 ② 大塚 晴弘（おおつか はるひろ） 1975年4月11日生 38歳  
 ③ 相楽 亨（さがら とおる） 1976年6月25日生 37歳

## 9. 審判指導者との契約の件

**（協議）資料No.8**

以下の2名と審判指導者契約を下記の通り締結したい。年齢は2014年1月1日現在。

## ①太田 潔（おおた きよし）

生年月日：1956年6月14日生 57歳  
 契約期間：2014年1月1日～2015年12月31日（2年間）  
 業 務： ・審判員の育成に関わる業務全般  
 ・レフェリーカレッジの計画、管理、運営  
 ・競技規則に関する業務  
 ・指導教材他、研究開発に関する業務

## ②柏原丈二（かしはら じょうじ）

生年月日：1963年4月19日生 50歳  
 契約期間：2014年1月1日～2015年12月31日（2年間）  
 業 務： ・審判員の強化、育成に関わる業務全般  
 ・Jリーグ担当レフェリーの強化

## 10. 日本サッカー史研究会へのミュージアム協力の件

日本サッカー史研究会公開シンポジウムに協力し、日本サッカーミュージアム1階ヴァーチャルスタジアムを無料で貸し出したい。

[日本サッカー史研究会公開シンポジウム]

戦前の発展と東京帝国大学のサッカー～竹腰重丸の業績を中心に～

[趣旨]

日本サッカーの歴史のうえで、それぞれの時代の中心となったチームや個人の業績を検討する最初の試みとして、戦前（大正～昭和初期）の東大を取り上げます。

引き続いて戦前の発展に大きな役割を果たした東京高師（現筑波大）、早稲田大学、慶応義塾大学等について、また関西をはじめ各地方についても公開研究会を行い、日本サッカー史の編纂に役立てることを期しています。

[概要]

日時：12月20日（金） 18時30分～20時30分

場所：日本サッカーミュージアム ヴァーチャルスタジアム

内容：

1. 「日本サッカー史の流れ」 牛木素吉郎（東大OB、サッカージャーナリスト）
2. 「東京帝大と竹腰重丸の業績」 浅見 俊雄（東大OB、日本サッカー協会顧問）
3. ゲストとフロアによる意見交換

参加費：500円（当日徴収）、学生無料。

申し込み方法：下記によりメール、ファックスでお申し込みください。

Eメール：info@11plus.jp

ファックス：03-5485-2546 ビバ！サッカー研究会（牛木）

主催：日本サッカー史研究会

協力：日本サッカーミュージアム、一般社団法人東京大学LB会、東京大学ア式蹴球部  
スポーツ文化研究会「サロン 2002」、ビバ！サッカー研究会